

パルコブランドのプロデュース

Produced by PARCO Brand

当社は創業以来、単に物を売るだけでなく、楽しい時間の過ごし方や新しい生活の楽しさなどをプロデュースし、提案する情報発信基地となって独自の文化を生み出す取り組みをしてきました。

それが企業ブランドの向上やショッピングセンター「PARCO」の差別化に大切な役割を果たしています。

宣伝・販促活動

2009年 正月企業広告

「じぶんの王国をもとう。PARCO」を展開

「じぶんの王国をもとう」というメッセージは、ネガティブなニュースばかり耳にする時代だからこそ、ポジティブで元気なメッセージを発信していく、というパルコの企業姿勢を表したものです。この広告は、朝日広告賞の流通・エンターテインメント部門 部門賞を受賞しました。



新聞広告「じぶんの王国をもとう。PARCO」

「福岡PARCO」オープンに際して 進化した宣伝プロモーションを展開

地元の方々との協業や参加型といった地域一体型の宣伝プロモーションや、ツイッター、ブログによる情報発信、店内デジタルサイネージとモバイルの連動といったデジタルツールの活用など、新たな手法を取り入れて展開しました。地元で活躍するタレントに加えて、パルコ エンタテインメント事業部とゆかりのある三谷幸喜、森山未来、温水洋一が出演したテレビCMでは、福岡広告協会賞で金賞を受賞しました。



「福岡PARCO」オープンCM (左)、福岡アジアコレクション(FACo)ポスター (中)、PARCOシンデレラガールコンテストグランプリ受賞 知念沙也禰さん(右)

営業企画

謝恩企画「パルコ40周年キャンペーン」展開

第1号店「池袋PARCO」の開店40周年を記念し、9月のシルバーウィークからクリスマスにかけて、全店規模で謝恩企画を展開しました。当社のハウスカードである「PARCOカード」と連動させた「PARCO Thanks Week」や「40th Anniversary PARTY & SALE」、40種類の限定コラボ缶をプレゼントする「PARCO 40th ALL-STARS 史上最大のCANペーン」などを開催しました。



池袋PARCO40周年 (左)、PARCO 40th ALL-STARS 史上最大のCANペーン(右)

「ACROSS(アクロス)」の運営

ストリートファッション・マーケティングをコンセプトに、東京の若者とファッションを観測・分析・研究するチームが運営するメディアです。1980年8月より、渋谷、原宿、新宿の3拠点にて①街頭撮影調査(定量)②デプスインタビュー調査(定性)を毎月実施。考現学的手法をベースに、人×街×モノ・コトと複合的な視線から若者とファッションを分析する「定点観測」をはじめ、「消費生活」という日記調査などミクロな視点から時代・社会のトレンドを考察しています。その情報は社内へフィードバックし、事業戦略や店舗改装、営業企画などにも活用するほか、外部企業やアカデミズムとの共同研究も行っています。また、2010年2月にはAR(拡張現実)の実証実験プロジェクト「SHIBUYA COLLECTION 2010 SPRING Augmented Reality Showcase @ Shibuya Tokyo」に参画。30年間のストリートファッション写真の展示を行うなど、新たな取り組みも積極的に行っています。



パルコのエンタテインメント (2009年度の主な企画)

劇場

「PARCO劇場」(「渋谷PARCO」パート1 9階)、「ル テアトル 銀座 by PARCO」を活用したコンテンツのプロデュースを中心に、外部劇場からの委託業務なども行っています。



「印獣」

作 宮藤官九郎 演 河原雅彦 出 三田佳子 / 生瀬勝久・池田成志・古田新太 / 岡田義徳、上地春奈

DATE 2009年10月13日(火)~11月8日(日)

会場 PARCO劇場

“今、一番やりたい芝居を、自分たちの企画で上演したい!”。PARCO劇場初登場となる三田佳子をゲスト主役として迎えた、演劇界のチームリーダー「ねずみの三銃士」(生瀬勝久、池田成志、古田新太)第2回目の舞台公演。2010年4月DVD化。



「なにわバタフライN.V」

作 演 三谷幸喜 出 戸田恵子

DATE 2010年2月7日(日)~2月28日(日)

会場 シアタートラム

浪花の喜劇女優「ミヤコ蝶々」をモチーフに、“一人芝居”のイメージを塗り変えたと絶賛された、三谷幸喜の傑作一人芝居「なにわバタフライ」のニューバージョン。余分なものをそぎ落とし、恋に生き、仕事に生きた女の一代記を戸田恵子が見事に演じきる一人芝居。

15歳。

子役ではない、一人の舞台役者としての初めての舞台。

初日は1999年の大晦日。2000年に向けてのカウントダウンのステージ。

PARCO劇場の2階。狭い楽屋に大の男がひしめきあう。

本番15分前、全員がたいがい上半身裸でQueenの「We Are The Champions」を熱唱していた。

本番5分前、舞台袖。

ミュージシャンも合わせて、総勢15名、円陣を組む。

芸人、そして役者の宮川大輔さんの一声で客席に明らかに聞こえるような大声で全員が、叫んだ。

25歳。

この10年、何かしらの自分にとっての節目には必ずと言っていい程、そこにはパルコさんがいました。

本当に頭が上がりません。

これからも叫び続けます。

森山 未来



出版

PARCO出版では、オリジナリティあふれる出版活動を展開しています。



「うそっ。」蒼井 優

蒼井優と一流のクリエイティブチームがつくり上げた、おしゃれかつ上質なポップアップブック。読者に“うそっ?”と思わせる不思議な世界観で構成された斬新なアートブックです。



「日本力」松岡正剛+エバレット・ブラウン

日本人とはいったい何なのか?日本が世界に誇れる文化とはどのようなものなのか?“知の巨人”松岡正剛と“現代のフェノロサ”エバレット・ブラウン。ふたりが本当の日本の豊かさを照らし出します。



「ラヴァーズ・ダイアリーmore」

「お互いのことをもっと知りたい」「ふたりの仲を深めたい」……いま、恋愛のまっただ中にいる恋人同士のための365問。恋が深まる恋愛日記のベストセラー「ラヴァーズ・ダイアリー」、待望の第2弾です。

音楽

渋谷、名古屋（「名古屋PARCO」東館8階）、心斎橋（「心斎橋PARCO」8階）、広島（「広島PARCO」本館10階）4店舗のライブハウス「CLUB QUATTRO」において、国内外を問わず新進気鋭のアーティストを招聘しています。



主な企画

- ▶ TOKYO No.1 SOUL SET / リリー・フランキー
- ▶ 吾妻光良&THE SWINGING BOPPERS / SAKEROCK
- ▶ オリジナル・ラヴ
- ▶ BEAT CRUSADERS / THE COLLECTORS
- ▶ EGO-WRAPPIN' / SHEENA&THE ROKKETS
- ▶ 曾我部恵一BAND
- ▶ eastern youth / MO'SOME TONEBENDER
- ▶ ZAZEN BOYS / THA BLUE HERB



名古屋クラブクアトロ20周年企画 “NAGOYA CLUB QUATTRO 20th ANNIVERSARY SPECIAL”

DATE 2009年6月19日（金）～7月12日（日）
1989年6月29日「名古屋PARCO」と同時にオープンし、2009年で20周年を迎えた名古屋クラブクアトロ。6月29日を挟んで24日間、縁の深いベテラン・アーティストやクアトロから巣立った大物アーティスト、地元出身のブレイク間近のニューカマーまで、ほかでは観られないスペシャルなラインナップで開催しました。



EGO-WRAPPIN'



オリジナル・ラヴ

映像

ロードショー館シネクイント（「渋谷PARCO」パート3 8階）で魅力的な作品を提供しています。上映映画と「PARCO」各店、オンラインショッピングモール「PARCO-CITY」との連動なども行っています。また、映画製作委員会の幹事会社への取り組みにも着手しました。



「鈍獣」

2004年PARCO劇場で上演され、宮藤官九郎が演劇界の芥川賞「岸田國士戯曲賞」を受賞した伝説の舞台「鈍獣」を映画化。監督は、気鋭のCMディレクター・細野ひで晃。出演は日本映画界を代表する俳優・浅野忠信ほか、一筋縄ではいかない豪華キャストが揃いました。宮藤官九郎がコメディという形で、人間の鈍さ=愚かさを浮き彫りにし、人間の愛おしさをハートフルに描いています。2009年劇場公開。DVD発売・レンタル中。



©2009「鈍獣」製作委員会



「ソラニン」

今を生きるリアルな若者を描き、圧倒的な共感を得る作家・浅野いにおの傑作コミックの映画化。主役にはTV・CM・映画と活躍する国民的女優・宮崎あおい。初めての歌とギターに挑戦したことも話題になりました。監督はミュージックビデオ界で活躍中の三木孝浩、音楽は人気バンドASIAN KUNG-FU GENERATIONが担当と、若く才能あふれるクリエイターたちが集結し、切なくも感動的な青春恋愛映画となりました。2010年4月3日より全国公開されています。



©2010 浅野いにお・小学館／「ソラニン」製作委員会